

KINJO MIND

# KIND

Kinjo University 2018.10

No.27

## ◆後援会 活動報告

平成30年度 役員会・総会・学部別説明会・個別相談会 開催報告  
平成30年度 役員・運営委員紹介、平成29年度 決算・平成30年度 予算  
平成30年度 金城大学 学部・学科構成図一覧  
平成29年度 金城学園 財務概要

## ◆大学行事

平成30年度 入学式、新入生歓迎会  
新入生研修、クラブ・同好会代表者研修会  
第43回 金城祭

## ◆平成29年度 卒業生の進路結果

## ◆新任・退任教職員紹介

## ◆トピックス

公開講座、ゆうがく広場／悠遊健康サークル  
北國健康生きがい支援事業

## ◆行事案内

第13回 保健・医療・福祉創造フォーラム開催案内  
金城大学後援会 地域別説明会・個別相談会開催案内

## ◆金城学園の建学の精神・金城大学の設立の理念など

# 後援会 活動報告

平成30年度

役員会・総会・学部別説明会・個別相談会  
開催報告



今年度も、6月30日(土)9時50分より、本学社会福祉学部棟及び医療健康学部棟、看護学部棟等にて、平成30年度役員会、総会、学部別説明会及び個別相談会を開催しました。

午前中の役員会は、高松喜与志会長、加藤真二理事長の挨拶に始まり、二平成30年度役員人事、

二平成29年度事業報告及び決算報告、三平成30年度事業計画及び予算が審議され、いずれも全会一致で承認されました。その後、開催された総会は約200人の保護者の皆様にご参加いただき、高松会長、前島伸一郎学長の挨拶に続き、役員会と同議題についての提案、審議がなされ、いずれも全会一致で承認されました。

総会後には、「大学からのお知らせ(学園、教学、就職)」と「学部別説明会」が引き続き行われました。

「大学からのお知らせ(学園、教学、就職)」では、保護者の現状などについて、保護者の皆様にご説明・ご案内する機会となりました。また、「学部別説明会」では、3学部合計で約230人の保護者の皆様のご参加があり、学外実習や国家試験対策、就職支援状況などについての説明・



質疑応答が行われました。午後に入り、各修学担当教員の研究室で、社会福祉学部39組、医療健康学部61組、看護学部18組の個別相談が行われました。当日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。引き続き、金城大学へのご支援及び金城大学後援会の諸活動に対しまして、ますますのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 平成30年度 役員・運営委員紹介

(敬称略)

### ◆ 役員 ◆

- 会長** 高松 喜与志
- 副会長** 中村 哲郎、富樫 純治
- 会計監事** 森山 芳行、南出 剛宏
- 幹事** 北潟 克輔、中 磯子、丸尾 朝之、猪狩 もとみ、境 美砂子、佐々井 誠、町野 圭亮、田中 千恵

### ◆ 運営委員 ◆

- 4年生** 佐藤 志保、山崎 勝彦、井伊 博一、丹羽 紀代美、屋名池 賢一、南 ゆかり、川淵 五十鈴
- 3年生** 眞田 裕美、坂井 美千代、酒井 真由、西 保巳、大達 清寛
- 2年生** 白崎 弥生、安田 久美江、中野 秀和、前田 悟、中平 明美、宮本 文子
- 1年生** 沖野 琴美、西川 美代子、大向 哲、高澤 政人、戸水 小百合



## 平成29年度 決算・平成30年度 予算

(単位:円)

収入の部	平成29年度決算	平成30年度予算
会 費	17,835,000	18,840,000
利 息	91	100
雑 収 入	0	0
前年度繰越金	1,513,545	2,053,412
合 計	19,348,636	20,893,512

(単位:円)

支出の部	平成29年度決算	平成30年度予算
学生活動支援費	5,449,534	5,500,000
就職・教育活動支援費	5,734,948	6,000,000
会員研修費	400,000	400,000
研究活動支援費	861,840	1,000,000
会 議 費	684,532	800,000
通 信 費	536,682	800,000
慶 弔 費	230,000	300,000
事務費負担金	500,000	500,000
広 報 費	899,600	1,000,000
雑 費	158,486	200,000
卒業記念品代	839,602	1,500,000
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000
予 備 費	0	1,893,512
合 計	17,295,224	20,893,512

### 特別会計

(単位:円)

収入の部	平成29年度決算	平成30年度予算
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000
利 息	678	800
雑 収 入	0	0
前年度繰越金	4,001,261	5,001,939
合 計	5,001,939	6,002,739

支出の部	平成29年度決算	平成30年度予算
予 備 費	--	6,002,739
合 計	--	6,002,739

※平成29年度特別会計決算(収入の部)合計5,001,939円-(支出の部)合計0円=5,001,939円を次年度繰越金とする。

※特別会計繰入金(次年度繰越金)は、定期預金として管理する。

※平成29年度決算(収入の部)合計19,348,636円-(支出の部)合計17,295,224円=2,053,412円を次年度繰越金とする。

## ◆ 平成30年度 金城大学 学部・学科構成図 一覽



## ◆ 平成29年度 金城学園 財務概要

### 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科 目		金 額
教育活動収支	教育活動収入計	3,862,362
	教育活動支出計	3,672,352
	教育活動収支差額	190,010
教育活動外収支	教育活動外収入計	5,227
	教育活動外支出計	23,245
	教育活動外収支差額	-18,018
経常収支差額		171,992
特別収支	特別収入計	71,010
	特別支出計	863
	特別収支差額	70,147
基本金組入前当年度収支差額		242,139
基本金組入額合計		-238,790
当年度収支差額		3,349

### 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		金 額
科 目		金 額
固定資産		10,230,066
有形固定資産		9,635,818
特定資産		510,583
その他の固定資産		83,665
流動資産		2,581,134
資産の部(合計)		12,811,200

負債の部		金 額
科 目		金 額
固定負債		1,814,928
流動負債		726,335
負債の部(合計)		2,541,263

純資産の部		金 額
科 目		金 額
基本金		14,090,723
繰越収支差額		-3,820,786
純資産の部(合計)		10,269,937
負債及び純資産の部(合計)		12,811,200

※詳しくは、金城学園ホームページ(<http://www.kinjo.ac.jp>)をご覧ください。

# 大学行事

## 4月7日 新入生歓迎会

4月7日(土)に新入生歓迎会が開催されました。学友会長の歓迎挨拶後に、ダンス部によるオープニング公演や在校生が企画した体験型ウォークラリー、クラブ・同好会による活動紹介、豪華景品を用意した大抽選会を行いました。盛大に開催され、新入生は学校について知る機会となり、また、他学部の学生やクラブ・同好会の先輩と交流できたことで安心感が生まれ、これからの学校生活に向けて期待が高まる一日になったようです。



## 4月1日 平成30年度入学式

4月1日(日)に、入学式が白山市鶴来総合文化会館クレインにて挙行され、社会福祉学部141人(うち編入学生2人)、医療健康学部98人、看護学部90人、大学院総合リハビリテーション学研究科4人の総計333人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。

加藤真一理事長が告辞、前島伸一郎学長が「さまざまな人に支えられて今ここに自分がいるということをしっかり認識し、社会に恩返しができるよう勉強や経験を重ねて」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、医療健康学部の越野未奈子さんが「心豊かで社会に貢献できる人間になれるよう頑張りたい」と抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。



## 6月16日 クラブ・同好会代表者研修会

6月16日(土)に、全クラブ・同好会の代表者を対象としたクラブ・同好会代表者研修会が開催されました。クラブ・同好会担当職員からクラブ活動支援費申請や活動報告等の書類作成方法についての説明があり、その後学友会執行部会が中心となり各クラブ・同好会の学生同士でレクリエーションや学内の清掃活動を行いました。レクリエーションを通じて、自然と話しやすい雰囲気



が生まれ、スポーツ系や文化系問わず交流することができました。今後の団体同士の交流や情報交換が活発化していくことが期待できる一日になったようです。

## 4月14日 新入生研修

4月14日(土)に笠間キャンパス及び松任キャンパスにて新入生研修が行われました。午前の部では、充実した学生生活を送るための計画づくりや、白山警察署の方による交通安全や防犯についての講習を行いました。午後の部では3学部に分かれて、マナー講座、先輩との交流会、レクリエーション形式の研修等



を行いました。それぞれの学部で行われた講座やレクリエーションを通じて、仲間と協力しながら学んでいく姿勢を互いに感じとることができ、充実した一日になったようです。

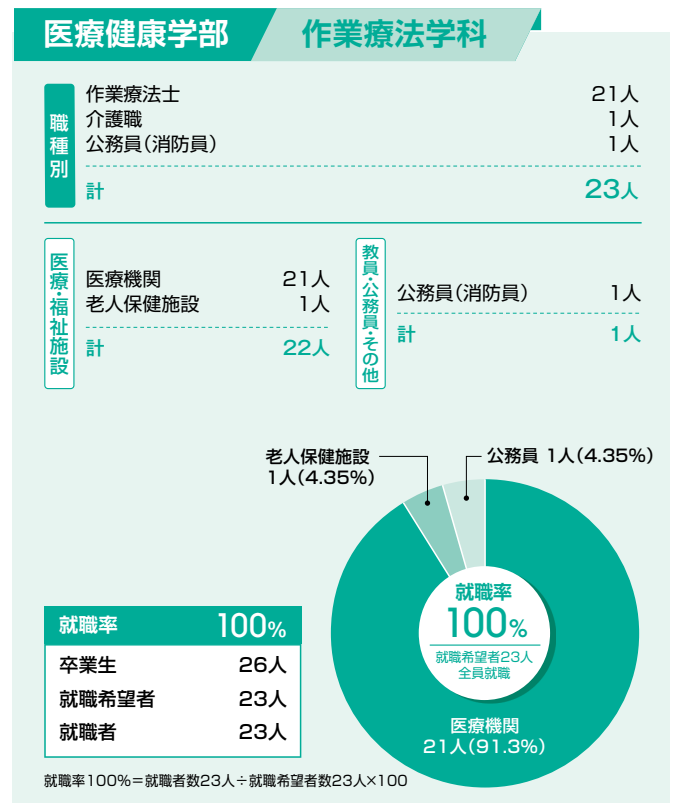
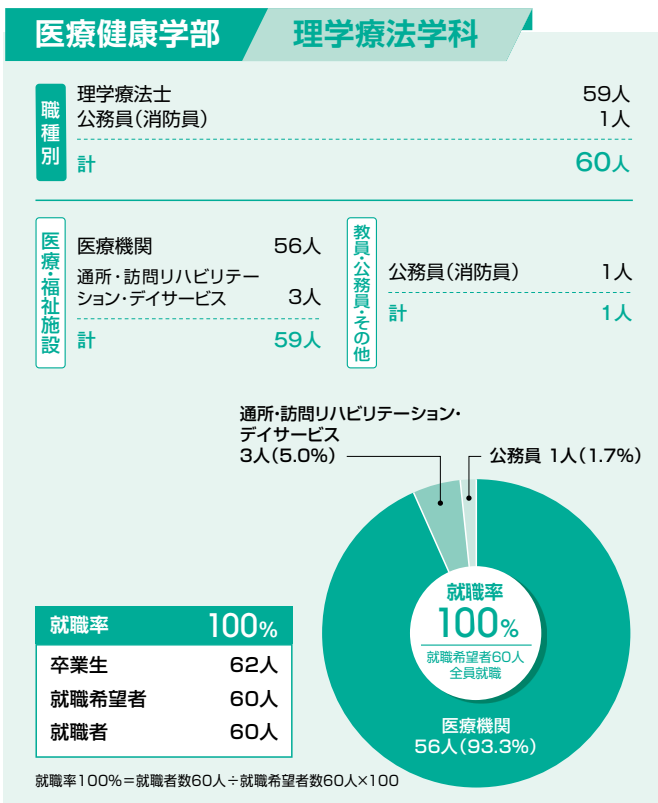
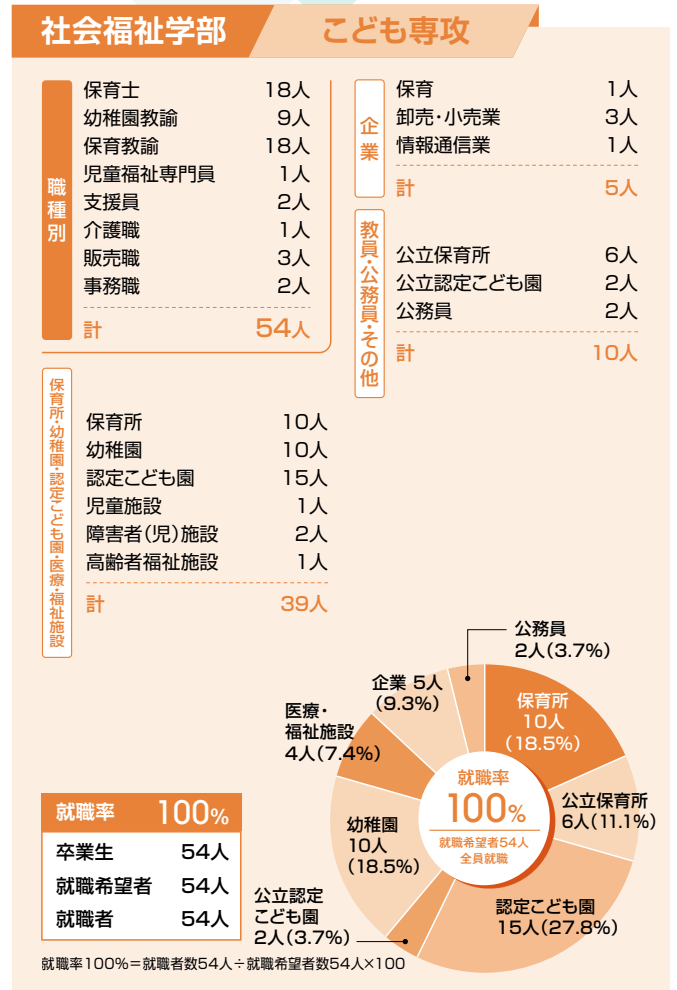
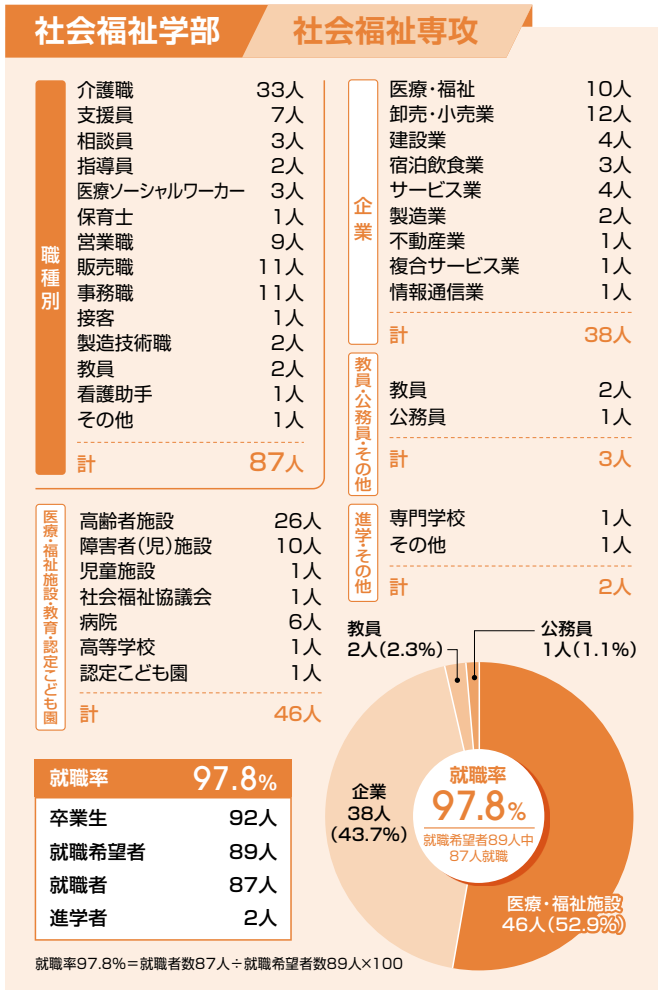
## 10月20日-21日 第43回金城祭

今年度は、「Connecting～みんなであつながる金城祭～」をテーマに、第43回金城祭が10月20日(土)・21日(日)に開催されました。「ハジ→」、「DJ U-ICHI」「侍」によるゲスライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日も多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができたようです。



# 平成29年度 卒業生の進路結果

平成30年5月1日現在



# 新任・退任教職員紹介

## 新任のご挨拶

学長 前島 伸一郎



平成30年4月1日付で金城大学学長を拝命しました。就任にあたり、ご尽力いただきました関係の方々に深く感謝申し上げます。

私は昭和61年藤田保健衛生生大学(現藤田医科大学)医学部を卒業し、故郷の和歌山県立医科大学附属病院で臨床研修を行った後、リハビリテーション医学を専攻するため、母校の大学院に進み、平成4年大学院修了と同時にリハビリテーション科専門医となりました。この間、リウマチ骨関節疾患や切断、脊髄損傷、脳卒中など多くの患者さんの主治医となり、たくさんのお勉強をさせていただきました。その後、米國ワシントン州立大学、豪州シドニー大学に留学し、急性期医療へのリハビリテーション介入や、地域リハビリテーションを経験いたしました。帰国後は、和歌山県立医科大学附属病院でリハビリテーション科の開設に従事し、平成16年より川崎医療福祉大学教授として、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのコメディカル育成のために教鞭をとってきました。平成19年から、埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科教授・診療科長・運営責任者として、急性期病院における臨床研究・教育を実践してきました。また、平成25年からは、藤田保健衛生生大学医学部リ

ハビリテーション医学II講座の教授となり、わが国最先端のリハビリテーション医療を実践してまいりました。

さて、リハビリテーションは失った機能の回復だけを目的にするのではなく、障害をもった人の能力を最大限に発揮できる状態にし、可能な限り高いQOL(quality of life...生活の質)を実現させることであります。そのためには、臨床医学や障害学、運動学、生理学、運動治療学―理学療法、作業療法、言語療法、義肢装具学―等に精通した専門家が連携しなければ、障害を有する患者さんを救うことができません。また、医療のみならず、看護や福祉にも精通した幅広い知識は、患者さんのみならず広く社会のためになると思います。

言うまでもなく、わが国は世界に類を見ない少子高齢社会です。すでに出生数の低下は著しく、高齢化率は27.3%と過去最高で今後も増加の一途を辿る見込みです。平成12年、社会福祉学部から始まったわが金城大学ですが、この時代に対応した医療・福祉に秀でた人材を育成すべく、医療健康学部、看護学部が開設され、着実に進化を続けております。後援会の皆様方にはどうかこれから大きな成長を遂げていく金城大学をしっかりと見守っていただければ幸いです。

社会福祉学部 佐伯 英明 教授



専門分野 特別支援教育  
担当科目 肢体不自由教育論、肢体不自由者の心理、知的障害者の生理・病理、病弱者の生理・病理、知的障害者の心理、病弱者の心理、肢体不自由者の生理・病理、障害児教育実習指導

障害のある子どもたちの可能性を最大限に伸ばす特別支援教育のあり方について考え、学び続けていきたいと思っています。特別支援教育を学ぶことは、学生の皆さんに人間性を豊かにすることにつながります。ともに頑張っていきたいと思います。

看護学部 岩城 直子 教授



専門分野 成人看護学  
担当科目 成人看護論、成人看護学実習、成人看護学実習(急性期・回復期)、統合実習、ボランティア活動II卒業研究

生命や命の本質に関わる関係性の大切さや「なぜ、…なのか?」という問いかけとディスカッションをおして、学生の皆さんが自らの看護を探索していけるようにともに考えていきたいと思っています。

看護学部 大澤 千恵子 准教授



専門分野 基礎看護学  
担当科目 看護理論、看護倫理、看護学研究法他

看護師になって看護の現場で、看護シレンマを感じた時に役立つ考え方を一緒に勉強したいと思います。

看護学部 堅田 智香子 講師



専門分野 小児看護学  
担当科目 小児看護論、小児看護学実習、小児看護学実習

看護は人を勇気づけ、元気づける、「人の心にふれる」仕事です。看護の対象(あらゆる年齢・立場の方々)がその人らしく生きることが出来る援助ケアを目指し、学生に寄り添いながら共に考え、実践していきたいと思っています。

看護学部 古市 朋子 助教



専門分野 基礎看護学  
担当科目 基礎看護学方法論、基礎看護学実習I、基礎看護学方法論実習I・II、基礎看護学実習I・II

看護を学ぶ学生にとって基礎看護学は、スタートの領域になります。「看護は楽しい」と感じられるような授業を心がけていきたいと思っています。



看護学部 蘭直美 助教

専門分野 高齢者看護学  
担当科目 高齢者看護論、高齢者看護学演習、高齢者看護学実習他

看護現場で23年、そのうち訪問看護で13年、常に看護現場に身を置きながら教育に8年携わってきました。これまでの経験を生かして学生に看護実践の楽しさと素晴らしさを伝えていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



看護学部 鈴木典子 助手

専門分野 看護

理想とする看護師となるため、充実した学生生活を送るお手伝いをしたいと思っています。よろしくお願い致します。



看護学部 濱田珠里 助手

専門分野 地域看護学

今年の3月まで保健管理センターに勤めておりました。仕事内容がガラリと変わり、不慣れな事も多いですが、学生と共に成長していきたいと思っています。



職員 池端良伸

所属部署 学長室

学長室長、法人参事として、大学、学園のために何ができるかを考えて努力します。今年7月に西川きよし氏の講演を聴きました。「人生は小さなことからコツコツと」が心に響きました。どうぞよろしくお願いいたします。

### 退職教職員

社会福祉学部の大友順治特任教授、平口真理特任教授、福生圭伊子助教、医療健康学部の巽雅子准教授、看護学部の下田裕子講師、伊藤愛助手、廣田正美助手、大学院の奈良勲特任教授、事務職員の西谷公作 法人本部参与の9人が平成30年3月末で、看護学部の宮森浩策助手が同年6月で、看護学部の原元子准教授、中嶋渚助手、事務職員の大森隆経理部長の3人が同年8月末で、社会福祉学部の平澤元章教授が同年9月末で退職されました。

# トピックス

## 公開講座

平成30年5月26日(土)～平成30年11月24日(土)

毎年、短期大学部との共同事業として「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を実施しています。5月26日(土)から11月24日(土)にかけて行い、今年度は全20講座開催しました。本学が持っている教育資源だけでなく、外部講師による「白山学」や人気が高くなってきた「ポルウォーキング」体験講座などを行い、多くの地域の方々が聴講されました。なお、平成31年度も引き続き開催いたしますので、是非ご参加ください。

## ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたアクティビティ活動として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」がそれぞれ実施されており、地域の方々からたいへん好評をいただいています。活動状況等の詳細については、大学ホームページに掲載されていますのでご覧ください。



## 北國健康生きがい支援事業

平成30年10月27日(土)、平成30年11月24日(土)

北國新聞社との共催事業として「北國健康生きがい支援事業」を実施しています。今年度は、10月27日(土)に「社会福祉講演会」として、社会福祉学部・田中克恵教授による「よりよい最期を迎えるために―ご本人のご家族にできること―」をテーマに開催しました。

